



新年宴会

2016年1月13日尾道国際ホテルにて新年宴会が行われました。

テーマ「繋げていこう未来への環」のもと、これからの「環」が続いていくことを感じられる終始賑やかな雰囲気での会が進行できました。

2015年度満期退会者の皆様から麻生裕雄理事長へプレジデンシャルリースを贈呈いただき、かつてない新年宴会の幕開けとなりました。プレジデンシャルリースへは、60名の理事長名を刻め、その一代目となる麻生理事長は非常にご満悦の様子でした。

新年宴会の開始時に、理事長登場前に僕が登場してしまったことはさておき非常に大きな半紙へ迫力ある達筆な書初めをお披露目でき、麻生理事長の思い「和」が大々的に表現され正に圧巻の一言でした。

その後の新入会員紹介にて名前入りのタ

スキを掛け登壇してもらい、非常にユーモアと元気のある意気込みを語ってもらいました。歓談ではOB・諸先輩方へ挨拶に廻らせて頂きました。

僕にとって初めてづくしでシドロモドロしながら、委員会にて新年宴会の内容を企画し、委員会を重ねて当日ギリギリまで変更、修正をしましたがが委員会メンバーが一丸となって進めたおかげで無事にもち米も一粒一粒が大きな塊になり、おかげで無事にもち米も一粒一粒が大きな塊になりました。

最後になりましたが、お忙しい中ご出席賜りましたOB、諸先輩方、おかげ様で無事盛大に会を催すことができました。

2016年度の素晴らしいスタートが切れたと思います。

入会して16年目にしてようやく委員長をさせて頂くこととなり、最高潮の緊張と、喜びを味わうことができ、今まで続けてきた良かったと思えました。感動を下さった皆様に大いに感謝しております。

ありがとうございます。

(記事：会員・地域交流委員会委員長 山本慎也)



満期退会者の表彰では、麻生理事長から感謝状と記念品が贈られ、卒業生代表として前田光輝先輩から現役メンバーに対し心強い言葉をいただきました。

感謝状と記念品が贈られ、卒業生代表として前田光輝先輩から現役メンバーに対し心強い言葉をいただきました。

1月例会

1月13日、例年よりも早く1月例会が開催されました。

新年宴会に先立ち行われた例会では、理事長、直前理事長、監事パッジが授与され、パッジと共にその歴史が引き継がれました。

そして麻生理事長の年頭挨拶では、新たな一年へ向けた熱い思いと力強いメッセージを現役メンバーへ伝えて頂きました。

続いての各種表彰では、2015年度理事長、監事、出向者、例会皆出席者の功を褒めました。

満期退会者の表彰では、麻生理事長から感謝状と記念品が贈られ、卒業生代表として前田光輝先輩から現役メンバーに対し心強い言葉をいただきました。

(記事：村上成司)

新入会員紹介

岡田 貴臣



はじめまして、新入会員の岡田貴臣と申します。

1982年2月5日生まれ、妻、娘2人の4人家族です。現在、ジブラルタ生命保険に在籍し、生命保険を通して、お客様に日々安心と信頼をお届けしております。

関西の大学を経て10年間、損害保険会社に勤務。地元尾道に現職の仕事を就いています。趣味はバスケット、小5から現在まで続けており、NOバスケットNOライフの生活を送っています。

生命保険は、加入率約90%でありながら、きちんと理解してご加入されているお客さまが少ないものです。尾道の地で、一人でも多くの方に生命保険の正しい考え方や、必要性をお伝えし、縁の下から尾道の人・企業を支えていくため活動しています。

JC活動を通じて先輩方から多くのことを学び、常に「ご縁に感謝」しながら、地域貢献と自分自身の更なる成長に邁進してまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

岡本 大輔



皆様、2016年度総務広報委員会の幹事を務めさせていただいております新入会員の岡本大輔と申します。1月に行われた新年会には沢山の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。さて、今年度は総務広報委員会の幹事としてJC活動の初年度を過ごしているわけですが、1年目の目標としては「まず参加してみる」という事に取り組んで参りたいと思っております。分からない事だらけの中で自分にとってのJC参加の目的・目標・楽しみを見出したいと思っております。また、家族・会社の社員に支えられてのJC活動の中で支えとなってくださる皆様の理解が深まる様、なにかしらの形でJC活動の成果を還元したいと思っております。申し遅れましたが、私は冷凍たこ焼の製造を専門とする食品メーカーを営んでおります。ISO22000に沿った製造・マネジメントシステムを行っており、1日約8t、総個数40万個を焼き上げております。おいしくて、安心・安全な岡本食品のたこ焼。尾道のスーパーでも販売しておりますので是非一度お試しください!!

加藤 雄大



初めまして、新入会員の加藤雄大と申します。宜しくお願い致します。

私の職場は、栗原町にある株式会社プロシードです。

業務内容は、法人・個人問わず生命保険のコンサルティングを行っております。企業においては、総務・経理の外部コンサルタントとして、またご家庭内では資産形成、保険、相続対策、生前贈与等を考えた上でのコンサルティングをさせて頂いております。

一昨年の2014年に弊社が法人化20周年の節目の年を迎えたことや、業務の拡大に伴い社屋を新築、昨年2015年11月に新社屋が完成致しました。現在は新社屋で気持ちを新たに仕事に打ち込んでいます。

尾道青年会議所への入会は、OBや先輩の方々からお声掛けを頂き、ご縁あって入会させて頂きました。今後多くの「出会い」があると思いますが、その出会いを糧に自分を磨き、会社にも、地元尾道の発展にも貢献出来る様に頑張ります。皆様ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

島田 昌広



初めまして、新入会員の島田と申します。宜しくお願い致します。

私の職場は高須町にある社会福祉法人向晴会ひまわり保育園です。またペイタウン尾道館内では、放課後児童クラブと子育て支援センターを運営しております。

昭和57年2月28日生まれ。中学校から高校卒業するまでは軟式テニス部に所属し、大学を卒業してからは一般企業に5年程勤め、平成22年に尾道に戻ってきました。趣味は囲碁です。尾道で開催される囲碁大会には積極的に参加しています。

業務内容ですが、午前中は保育園の事務局で事務全般を管理し、午後は小学生をバスで学童まで送迎し、おやつ・勉強時間・自由時間を一緒に過ごします。学校が夏休みなど、長期休業に入ると、朝8時から夕方6時まで開会しています。

日々、子ども達から元気をもらっています。尾道に住む子ども達も、尾道の行事や文化を大切にできるような街づくりをしていきたいと思っております。皆様、よろしくお願い致します。

京都会議

2016年度も1月23日(土)、24日(日)と国立京都国際会館にて京都会議が開催されました。新入会員の皆様は全国から集合したJCMメンバーにさぞかし圧倒されたのではないかと思います。2016年度山本樹育会頭の所信表明を拝聴し、また、LOMから出向しているメンバーの携わるクオリティをライフセニナー2016を聴講、充実した2日間となりました。京都会議は初日のLOMナイトが一番の親睦のはかれる場となりますが寒い中設営された皆様が大変ご苦労様でした。私は卒業生として参加し、最後の京都会議となりましたが、可能な限り参加し、様々な経験を皆様にはどんどんして貰いたいと思っています。

(記事：村上成司)



ブロック新春会議

1月30日(土)広島国際会議場において公益社団法人日本青年会議所中国地区広島ブロック協議会新春会議に続き、広島市文化交流会館にて新春交流会が開催されました。



本年度の広島ブロック協議会には一般社団法人庄原青年会議所から出向されており、小林ブロック会長が率いており、「共感からつながる魅力ある広島の創造」をスローガンに掲げ船出しました。



新春会議では小林ブロック会長の挨拶を皮切りに、各副会長、委員長が方針説明を行い、尾道青年会議所より地域復興委員会に委員長として出向されている池田憲泰君も事業方針、事業内容を力強く説明されました。



会議の最後には監査担当役員として出向されている本多隆士直前理事長から、この一年への決意と、各LOMにブロック協議会への協力の依頼がありました。

(記事：宮地晃二郎)

成人式茶会

1月10日(日)、広島県立びんご運動公園にて開催された成人式において、尾道青年会議所茶道同好会が茶道速水流尾道支部青年部のご協力のもと、成人茶会を催しました。



メインアリーナ入口傍に設えられた茶席にお越し頂いた新成人に、着物姿の茶道同好会メンバーがお茶とお菓子を振舞いました。

新成人の皆さんからは、お茶の飲み方、お菓子の食べ方、茶碗の持ち方といった作法についての質問が多く、メンバーは新成人の皆さんに楽しんで頂きたいという想いを持つて対応していました。



(記事：政成啓行)

豆まき

2月3日(水)に吉備津彦神社(一宮神社)で節分祭が開催され、尾道青年会議所からは谷原さん、三谷さんの2名が参加されました。18時30分より神事が行われ、



20時の本番前には境内が人で溢れていました。豆まきが始めると一つでも多くの福を分けてもらおうと、人々から大きな声が上がっていました。短い時間ではありましたが、無事に厄払いも終わり、お二人とも参加して良かったと満面の表情でした。

(記事：まちづくり推進委員会委員長 中司昌克)



あいさつ

社会開発室 副理事長 美ノ上 仁孝



お世話になります。社会開発室副理事長の美ノ上です。本年度、社会開発室はまちづくり推進委員会と未来ビジョン委員会です。

この両委員会とも優秀な委員長と笑顔がすてきな副委員長またそれを支える元気いっぱいのフロアメンバーでがんばってまいります。一年間よろしくお願いします。

麻生理事長のテーマ「和」こそ現代に必要な心そのものだと思えます。

和の心を持って歴史やまちに育った文化を考えて行こうと思えます。

私の好きな論語で「剛毅木訥仁に近し」と言う言葉がありますが、意志が強く、飾りけがないのは道徳の理想とである仁に近いと言う。意味ですが、まったくできていないので、副理事長として、口数を少なくしようと思えます。

LOM支援実行特別委員会

実行委員長 片岡 彰一郎



LOM支援実行特別委員会の実行委員長を拝命いたしました。片岡彰一郎です。主な担当事業は、11年ぶりに尾道で開催されるブロック野球大会の運営、10月に広島で開催される全国大会で副主幹LOMとして全国大会の支援、会員の資質向上事業、そして会員の拡大です。入会10年目にして今年卒業の年に大役を仰せつかり、昨年の予定者段階より眠れない緊張の日々が続いております。果たして私にこの大きな事業を為し得ることができるのか…、いや必ずできるはず!と自問自答の日々です。

今年の私のテーマは、「無駄と思えることや面倒なことをやってみよう!」です。私もこの10年間で、随分と無駄と思えることや面倒なことをやってきました。いや、ほとんどすべてが無駄と思えることや面倒くさいことばかりでした。今はまだわかりませんが、たぶん卒業したときには、このことが自分を大きく成長させてくれたと実感できると信じ、今年も面倒なことから逃げずに、挑戦してまいりたいと思えます。でもやっぱり面倒なことから逃げたいと思えます。その時は皆様、容赦なく叱咤激励してください。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

専務理事

安本 皇



本年度、専務理事を務めさせていただきます安本 皇と申します。

本年度は麻生理事長のテーマ「和」のもと、尾道青年会議所の活動が今まで以上に地域に発信できる様に邁進していく所存です。

JCに入会してから経験・繋がりを大切に本年度に生かし、LOMの成長、また自分の成長へと繋げます。

一年間宜しくお願い致します。

魅力開発室

副理事長 沼田 邦博



2016年度 魅力開発室 副理事長を務めさせていただきます沼田です。

本年度は副理事長所信を「協働」とさせて頂き、総務広報委員会と拡大研修委員会の両委員会と共に麻生理事長を盛り上げていきたいと考えております。

村上成司委員長率います総務広報委員会は予定者段階から新たな試みとしてJCライフの電子化をはじめ、固定概念にとらわれず様々なことへ挑戦していこうと気合いを入れて日々活動しております。組織が一つとなり目標に向かって挑戦できる環境を作るべく、縁の下の力持ちとなり、青年会議所の根幹の部分形成していく為にコツコツと頑張っていきたいと思えます。

また今岡正英委員長率います拡大研修委員会は青年会議所活動に無くてはならない会員の拡大に積極的に取り組んでおります。1月の時点ですでに2名の仮入会申込書を獲得し、上々の滑り出しとなっています。今年には26名を拡大目標とし、来年100名での新たなスタートを目指し、メンバー個々の魅力を集結して情熱ある拡大活動に励んでまいります。

私たち魅力開発室はJAYCEEの「和」を以て「まち」と「ひと」と協働し、尾道青年会議所の更なる魅力を発信して「私たちのまちのJC」と思っただけのよう1年間頑張ってくださいませのでどうぞよろしくお願い致します。

会員開発室

副理事長 辻 健志



本年度、会員開発室 副理事長を務めさせていただきます、辻健志です。私が受け持つ地域教育推進委員会と会員・地域交流委員会は、ともに年のはじめから終わりまで数多くの事業を展開して参ります。

大西委員長率いる地域教育推進委員会は目下、4月例会行事に向けて一生懸命に動いており、同時に青少年育成事業・親の教育育成事業も計画が進行しております。山本委員長率いる会員・地域交流委員会は1月の新年宴会のように「明るく」楽しめる交流事業を進めて参ります。予定者期間も含め両委員長の活動を5ヶ月ほど拝見してきましたが、大西委員長は4月例会を組み立てていく過程で本当に多くの方と出会い様々な経験をされて来ましたし、山本委員長は新年宴会で自身のテーマ「明るく」にふさわしい宴会を演出するために尽力してきました。両委員会ともきつと素晴らしい事業を行ってくれるものと期待しております。さて、私の掲げるテーマ「楽しむために強くなれ 楽しみながら強くなれ」というフレーズは、ある漫画から一部を引用しました。JC活動に限らず仕事でも趣味でも楽しもうと思えば技術を磨き知識を蓄え、あらゆることを学ぶ必要があると思えます。しかし、例えば学校で意味も分からず丸暗記させられる文章や、何のために使うのか分からない数学の公式が頭の中に残らないように、JCも仕事も趣味も嫌々行っていたら技術も磨かれず知識も増えません。結果としてそれが嫌いになってしまいます。だから楽しみながら学んでいくべきだと思います。楽しいと思いつつ活動すれば活動の意味が分かってくる。意味が分かれば楽しむための技術も知識も磨かれます。だから、委員長・副委員長はもちろんのこと、メンバーには楽しんで活動してもらいたいと思えます。私もJC最後の年を副理事長の立場を楽しみながら務めていけたらと思います。1年間どうぞよろしくお願い致します。

会員拡大推進会議

拡大研修委員会、委員長の今岡です。1月19日には新年度に入ってから初の会員拡大推進会議を実施しました。今回は昨年拡大に成功しました東広島青年会議所の方々にお越しいただき、拡大訪問時の本質の伝え方、また拡大手法について様々な角度からアドバイスを頂きました。

(記事：まちづくり推進委員会委員長 今岡正英)